



開校記念日によせて

曹洞宗大學林曹

開校記念日を迎えるにあたって



学長
長谷部 八朗

本年10月15日は、駒澤大学の第137回開校記念日です。1882年麻布北日ヶ窪に学舎を設けて、江戸吉祥寺付設の「旃檀林」と称される学林を移し、新たに「曹洞宗大学林専門学本校」と命名したのが同日であることに因み、駒澤大学は、この日を「開校記念日」としています。かかる沿革に照らせば、本学は開校以来137年の歴史を刻んできたわけですが、その発祥である学林設立の時代に遡れば、今年で427年目を数えることになります。

ところで学外に目を向ければ、社会福祉法人・全国社会福祉協議会が、1965年に、10月15日を「たすけあいの日」と定めました。日常生活での助け合いや地域社会に対する積極的なボランティア活動への参加を呼びかける

日にしたいというのが制定の趣旨のようです。もとより、偶然の一致ではありますが、しかし、建学の理念を根底に据え、共生社会の実現に貢献し得る慈悲・利他の心をもった人材の育成・輩出を目指す本学の教育方針に鑑みれば、この一致に何か奇縁めいたものを感じます。因みに本学は、昨年7月に、世田谷区の社会福祉協議会と包括協定を結び、地域の福祉向上に資するべく、互いに協力して活動を進めているところです。

本年5月1日に元号が平成から令和に変わりましたが、本学「開校記念日」の翌週10月22日には、新天皇が国内外に即位を宣言し明らかにする「即位礼正殿の儀」が催されます。かくして、名実ともに「令和」の時代が幕を開けることになります。

このような時機に際し、私たちは、駒澤大学が永々と歩み築いてきた歴史を振り返り、前述した建学の理念の意義を改めて確認しつつ、令和元年の「開校記念日」を迎えたいものです。

一松語 「先生の研究は社会の何に役立つのですか」と聞かれることがある。かつては返答に戸惑っていたが、最近では作家遠藤周作の言葉を借りている。遠藤は「役にたためことの集積が人生をつくるが、すぐに役にたつことは生活しかつづらない」、「生活があって人生のない一生ほどわびしいものはない」と人生に何が必要かを暗示してくれる◆とかく文系の学問は、浮世離れしたものと思われ、世の中には博物館や美術館に行くことに

興味がわからない人もいるらしい。それより目に見える数字を追い求め、いち早く結果を出すことを重視する傾向がある。しかし、それは一般企業の話。すぐには役に立たないと思われる研究を毅然とした態度で進めるのが研究者であり、その中で将来を担う人材の種に、滋養のある水分を含ませることも高等教育の役割であろう◆「目先に役に立つものを追いかけるのは文明であって文化ではない。東京には文明はあるが文化が乏しいのはそのためだ」と遠藤は指摘する。文明と文化は、似て

いるようで実は意味が違う。文明は物質的なもので生活を豊かにし、文化は精神的なもので人生を豊かにする。ここで生活と人生のバランスを、どのぐらいの割合にするか意見が分かれるだろう◆芸術の秋。精神的なもの、目に見えない自身の感性に刺激を与えてみたらどうだろうか。物質を豊かにすることより、精神を豊かにすることの大切さに気づくことができれば人生はわびしくならず充実することだろう。開校記念日に駒澤大学建学の理念を確認したい。

明治十五年九月卅日落成
同年十月十日開庭
講堂 四百十席
生徒寮 四百四十席 三棟共
境内地三千坪余

名誉教授のプロフィール

名誉教授の称号は、学校教育法第106条、駒澤大学学則第51条及び駒澤大学法科大学院学則第14条第4項に基づき、教育または学術上、特に功労のあった先生に授与されます。

今年度は、6月28日(金)に授与式が行われました。



文学部
谷口 泰富 先生

谷口泰富先生は、1979年に本学文学部社会学科に助手として着任され、40年間にわたって在職されました。ご専門は生理心理学で、研究・教育に尽力されたのはもちろんのこと、大学でのご講義も美しい板書や脳の標本を提示するユニークな授業をされて、お人柄とともに学生から大いに支持を受けました。学科主任、全学教授会委員、そして文学部長を歴任され、大学運営にも大いに貢献されました。(文学部教授 八巻 秀)



文学部
間島 英俊 先生

間島英俊先生は、1999年に北海道教養部から赴任され、北海道と東京、2つの駒澤大学で41年間勤務されました。授業では1年生が初めて心理学に触れる「心理学概論」を主に担当され、ユーモアを交えた楽しい授業をしていただきました。児童心理学や青年心理学など発達心理学がご専門で、その研究と教育にご尽力されました。学科主任、自己点検・評価実施委員としても長らく務めていただきました。(文学部教授 八巻 秀)



経済学部
百田 義治 先生

百田義治先生は1981年に着任され、38年間大学の発展に貢献されました。特に2期4年にわたる学部長および大学理事の時期には、大学再建にご尽力されました。研究では生成期アメリカ経営学およびCSRに関して多数の業績を残し、学会活動では退職後も日本経営学会理事長としてご活躍、教育では700人超の卒業生と活発に交流されてきました。多方面でご活躍された先生の益々のご健闘を祈念いたします。(経済学部教授 松本 典子)



経営学部
羽鳥 茂 先生

羽鳥茂先生は、1980年4月に経営学部助手として本学に赴任。専任講師、助教授を経て、1991年に経営学部教授に就任、経営学部長、経営学研究科委員長などを歴任されました。教育面では、日本経済論の講義を長年担い、経済学概説なども担当。研究面では、日本経済に関するモデル分析を深めるとともに、2000年代から厚生経済学や社会的選択をめぐる基礎研究にも従事されました。(経営学部教授 明石 博行)



総合教育研究部
池上 良正 先生

池上良正先生は他大学にお勤めになられた後、1999年より本学文学部の専任、2006年からは総合教育研究部の専任となり、総合教育研究部長もお務めになられました。ご専門は宗教学で、特に日本や東アジアの民俗宗教や民間巫者などを研究されております。大学業務にも広い視野をお持ちで頼りがいがあり、多くを学ばせていただきました。今後多方面でご活躍されますことを祈念いたします。(総合教育研究部教授 矢野 秀武)

櫻井明久先生は、ヨーロッパ地誌、とくにドイツの農村研究に取り組んでこられました。何事にも真摯に取り組まれるお人柄は、熱心な学生指導からも窺われます。本学ご就任以前は長年教育学部に在籍され、地理教育の第一人者として知られます。21年間のご在籍期間中、「地理教育もいけれど、地理学の研究に戻りたい」というお話しを度々伺いました。ドイツの景観は、櫻井先生によくお似合いです。(文学部教授 土谷 敏治)



文学部
櫻井 明久 先生

茅原正先生は、1980年に本学文学部社会学科に奉職されました。以来約39年間、首尾一貫してご専門の禅心理学の研究を続けながら、心理学の必修科目であり重要科目でもある「禅心理学」の授業も長らく担当していただきました。授業では学生に坐禅体験を導入し、学問的には厳しい中にも人間的な優しさを感じられる講義を展開してくださいました。学科主任、専攻主任も長らく務められました。(文学部教授 八巻 秀)



文学部
茅原 正 先生

曾我信孝先生は、1981年に本学経済学部に着任以来、長くマーケティング論を担当され、学部から大学院の指導まで親身な教育指導で多くの学生から慕われてこられました。総合商社に関する研究では単著を上梓されています。また、学科主任や研究科委員長などの要職も歴任され大学と学部の発展にも貢献してこられました。先生には気さくにお付き合いいただき感謝しております。(経済学部教授 小栗 崇資)



経済学部
曾我 信孝 先生

光岡博美先生は1979年に本学経済学部に着任され、担当科目の「社会政策」は毎年800人前後の学生が受講する基幹科目でした。またボクシング部顧問も担当されました。ご研究は時代の要請に沿って社会変革の担い手である労働組合運動から労働問題一般へ、さらに格差・差別問題にも取り組まれ、最終講義は「男と女の力学―漱石作品をジェンダー視点で論評する」と題し、深い感銘を残されました。(経済学部教授 吉田 敬一)



経済学部
光岡 博美 先生

西尾誠示先生は1996年に駒澤短期大学放射線科に着任後、学部昇格に必要な高額医療機器の寄付を医療機器メーカーから引き出すなど、ご尽力されました。学部昇格後は、学科主任、学部長などの要職を歴任され、本学の発展に貢献されました。また、国際交流を積極的に進められ台湾の2大学との協定締結を推進されました。現在も、毎月のように海外の学会に参加されています。(医療健康科学部准教授 志村 一男)



医療健康科学部
西尾 誠示 先生

篠原正雄先生は、東京大学理学系研究科で天文学専攻の博士号を取得。駒澤大学では1985年から34年間教鞭を執られ、部門主任など各種委員を歴任されました。特筆すべきは、学内全ての組織から独立・中立な教職員情報交換の場としての「駒澤タイムズ」を2002年に設立。11年間編集部の代表として、よりよい大学を目指す活動を続けられました。(総合教育研究部教授 坂野井 和代)



総合教育研究部
篠原 正雄 先生



芸術の秋

あなたのお気に入りの一曲を教えてください

私の一曲



「芸術の秋」に駒大生に聴いてほしいオススメの音楽を在学生・教職員に聞きました。

Q1

思い出の曲は？

Q2

カラオケではじめに
歌う曲は？

Q3

勇気が出る、
背中をおされる
応援ソングは？

Q4

今一番聴いている
オススメの曲は？



グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科3年
横田 光

A1 曲名
Have You Ever Seen the Rain?
アーティスト名
グリーンス・クリアウォーター・リバイバル

1970年の曲だが、父の影響で赤ちゃんの時から車でずっと聴いていて、人生の中で一番聴いている思い出の曲！

A2 曲名
世界に一つだけの花
アーティスト名
SMAP

有名な曲で、みんなで歌って盛り上げられるから！

A3 曲名
We Are The Champions
アーティスト名
QUEEN

「We'll keep on fighting till the end」と「No time for losers」という歌詞から、「負けられない」と感じて、やる気が出る！また、カッコいい演奏と力強い歌声に気分が良くなる。

A4 曲名
Bohemian Rhapsody
アーティスト名
QUEEN

QUEENが一番好きなアーティストで、その中でも一番好きな曲。オペラとロックとバラードが混ざった独特なメロディーの曲で、大好き！QUEENを代表する曲なので是非聴いてほしい。



医療健康科学部診療放射線技術科学科2年
小笠原 梨乃

A1 曲名
難破船
アーティスト名
中森明菜

中森明菜さんは私の人生の憧れで、最初に知った曲がこの曲。この曲の背景はとても悲しくて、それを想いながら歌う表現力に脱帽！

A2 曲名
君が代
アーティスト名

やっぱり日本人だから！みんなで歌うと団結力が生まれて、一瞬だけ体育会系のような暑苦しさを感じられて好き（笑）。

A3 曲名
どこまでいっても渋谷は日本の東京
アーティスト名
けいお

この曲を聴くと不安になっている自分がばかばかしくなってきた不安がふつとぶ！テンションもぶち上げ！

A4 曲名
最低だなんて
アーティスト名
the shes gone

「青春」って感じて心がざわざわする！心が青春を求めているのでしょうか。



経営学部経営学科4年
山下 夏織

A1 曲名
BABY BABY
アーティスト名
GOING STEADY

高校時代、部活のバンドで初めてコピーした曲。当時ドラム初心者の私には難しい曲だったが、メンバーで音が合った時の感動は忘れられない！

A2 曲名
緊急事態
アーティスト名
女王蜂

単純に好き！ボーカルの声も特徴的でとても好き。リリックビデオがカッコいいので是非みてほしい！

A3 曲名
カメレオン
アーティスト名
赤い公園

曲のボリュームや華やかさが心地よくて背中をおされる。現在は撤退しているがボーカルの声が音に映えて悩み事もスカッとする！

A4 曲名
ひとつだけ
アーティスト名
矢野顕子

好きなテレビ番組のエンディングテーマだから。一日の終わりに聴くとすぐくほっとする。「ねえおねがい」というフレーズが可愛らしい。



経済学部経済学科3年
佐藤 陽平

A1 曲名
LOVE AFFAIR ～秘密のデート～
アーティスト名
サザンオールスターズ

昔、父の車でよく聴いていて、歌詞に出てくるマリンルージュという船に彼女と乗船したことを父に報告したところ、実は浮気歌であることを知ったという強烈な思い出がある。

A2 曲名
勝手にしやがれ
アーティスト名
沢田研二

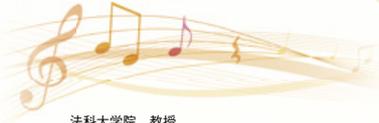
歌い出しからサビ終わりまでの分け目が曖昧で、全てサビのような盛り上がりで楽しめる。また、本人映像でステージを走り回る沢田研二がオープニングにふさわしいから。

A3 曲名
Don't Stop Me Now
アーティスト名
QUEEN

全体を通して歌詞が、「自分は楽しんでいる」という趣旨だけ、という単純さと、爽快感のあるリズム、メロディーに背中をおされる！

A4 曲名
flower
アーティスト名
L'Arc ~ en ~ Ciel

この曲が発表されたのは1996年。私が生まれる前の曲でも古くさは全くなく、本当にカッコいい曲。いい曲には流行も時代も関係ないということを知れる！



法科大学院 教授
日笠 完治

A1 曲名 エーデルワイス
アーティスト名 ジュリー・アンドリュース

第二次世界大戦中を舞台にした映画“Sound of Music”を高校生のときに見て、感動した。出演者の歌声に魅了され、オーストリアに行った際には“Sound of music”バスツアーに参加。

A3 曲名 銀色の道
アーティスト名 ダークダックス

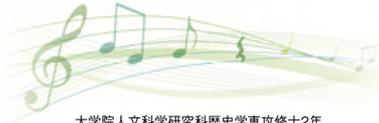
歌詞が気に入っている。「ひとりひとり今日も一人」「苦しい坂も生まればさがる」「近い近い夜明けは近い」と続く未来志向の展開は、今日の努力を褒めてくれているように感じる。

A2 曲名 津軽海峡冬景色
アーティスト名 石川さゆり

最初に勤務した大学が東北地方にあった。初めて、吹雪による「真白闇」を体験すると同時に、自然の雪化粧による、美しさ、厳しさ、穏やかさ、辛抱強さを思い出す。

A4 曲名 アメイジング・グレイス
アーティスト名 ヘイリー・ウェステンラ

キリスト教徒に限らず、今生きている自分は、奇跡であり、神の恵みであるという考え方、神の恵みが自分を導いているという信念が、正しいことを行うときの礎になるのではなかろうか。



大学院人文科学研究科歴史学専攻修士2年
江口 真由

A1 曲名 人生は上々だ
アーティスト名 ユニコーン

この曲をきっかけにユニコーンが好きになった。実はジェンダーについて書かれているのだが、何とも明るい元気の出る曲。

A3 曲名 CUSTOM
アーティスト名 奥田民生

目の前のことを頑張っている姿を誰かが見ていてくれているだろう、と自分を褒めてあげられる曲。くじけそうな時に、前向きになれるのでよく聴いている。

A2 曲名 サウダージ
アーティスト名 ボルノグラフィティ

声出しとしてはじめに歌う私の十八番。ラスサビの転調が歌っていて気持ち良い!

A4 曲名 Butterfly
アーティスト名 木村カエラ

先日、仲の良い先輩の結婚が決まったので影響されて最近聴いている。幸せな気持ちになれる曲で、結婚式で聴いたら絶対に泣く…!



文学部国文学科3年
石井 百花

A1 曲名 六等星の夜
アーティスト名 Aimer

歌詞にもアーティストの声にも、不思議な魅力がある。当時大好きだった本がアニメ化した際の曲。時々この曲を聴いて、また一步踏み出すための力をもたらしている。

A3 曲名 Carry Forward
アーティスト名 浦島坂田船

“心の針が指す方向へ舵を切れ”やりたいことをやろうと伝えてくれる曲。曲中に入るメンバーのセリフにも勇気づけられる。

A2 曲名 千本桜
アーティスト名 黒うさP

言わずと知れたボカロイロドの名曲。アニメ好き・ボカロ好きと行く時はもちろん、そうでない人で行っても盛り上がる。一曲目にしてはキーが高いのが難点。

A4 曲名 交響曲第5番
アーティスト名 チャイコフスキー

私の所属する駒澤大学管弦楽団で演奏する曲。ソロがあるので最近聴いている。オススメだけど長いので、演奏会に聴きに来てください!



法学部政治学科3年
松本 航

A1 曲名 光のロック
アーティスト名 サンボマスター

1年生の時の大学祭で演奏して、とても印象に残っています。今まで組んだコピーバンドで一番楽しかったものこの時!

A3 曲名 できっこないをやらなくちゃ
アーティスト名 サンボマスター

サビの歌詞「諦めないでどんな時も君ならできるんだどんな事も」がとても響く!全力で歌うギターボーカルの山口氏にも心惹かれる。

A2 曲名 高嶺の花子さん
アーティスト名 back number

イントロにしても曲調にしても始まりにじっくりくる!気がつくと大体一曲目に歌ってしまおう。

A4 曲名 匿名歌
アーティスト名 10-FEET

歌詞がとても響く。通学路で10-FEETの曲を聴く時は必ず聴いている。卒業までに一回はギターボーカルでコピーしたい!



仏教学部仏教学科4年
藤田 優佑

A1 曲名 I See Fire
アーティスト名 Ed Sheeran

友人と初めてカラオケに行った時に友人が歌っていた曲で、洋楽を聴くようになったきっかけの曲。自分の中の価値観が変わった思い出の曲!

A3 曲名 JUICE UP!!のテーマ
アーティスト名 WANIMA

最初からアップテンポで明るくなる曲!試合のアップ前に聴いて、マイナス思考を軽減してテンションを上げていく。

A2 曲名 カサブタ
アーティスト名 千綿ヒデノリ

私の友人はみんな知っている曲で、みんなで歌って盛り上がる!

A4 曲名 日本の米は世界一
アーティスト名 打首獄門同好会

最近このバンドをよく聴いていて、その中で一番好きな曲。この曲を聴いていると明るくなる。あと、凄く米が食べたくなるのでぜひ聴いてほしい!



人事部
荒井 美都

A1 曲名 桜木町
アーティスト名 ゆず

先日ゆずのライブに行った際、学生の頃に好きだった曲をいろいろ歌っていて、当時は思い出して懐かしい気持ちになった。中でもこの曲が一番好き。

A3 曲名 Fight Song
アーティスト名 Rachel Platten

ちょっと気分が落ち込んだ時にこの曲を聴くと自然と元気が出てくる。タイトル通り歌詞がとてもストレートなので、そこも含めて好きな曲。

A2 曲名 キミがいる
アーティスト名 いきものがかり

ドラマ「ホテルノヒカリ2」の主題歌で、ドラマも大好きだったので今でもよく歌っている。明るくてノリの良い曲なので、はじめの曲にピッタリ!

A4 曲名 インフェルノ
アーティスト名 Mrs.GREEN APPLE

友人からオススメされた曲だが、自分もハマって最近よく聴いている。疾走感があって曲調もかっこいいので、聴いていてとても気持ちのいい曲。

あなたはどっち派!?

思い出は?

食べるなら?



状況や音もすぐ思い出せるから!

法学部法律学科4年
森藤 那佳

その一瞬を切り取りたい!

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科3年
江口 達朗

好きなのは?



先輩たちとの仮装が楽しかった!

経営学部経営学科4年
清 みなみ

パーティーに参加したい!

文学部地理学科
地域環境研究専攻1年
村田 有弥



インスタント麺はお蕎麦派!

グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科2年
小沼 あみ

厚揚げがジューシー!

経済学部経済学科2年
石原 照山



仏教行事について

太祖降誕会

仏教学部准教授 徳野 崇行

「太祖降誕会」は曹洞宗において「太祖」と尊称される瑩山紹瑾禪師の生誕を祝う法要であり、毎年11月21日に営まれています。文永5(1264)年に生を受けた瑩山禪師は、永平寺三世徹通義介禪師の法を嗣ぎ、加賀大乘寺の二世となり、その後文保元(1317)年に永光寺を、元亨元(1321)年に總持寺を開きました。總持寺はもともと能登にありましたが、明治31(1898)年に火災によって伽藍の多くを焼失した後、明治44(1911)年に神奈川県の鶴見に移りました。現在では、曹洞宗の二大本山の一つとして禅僧たちの修行の場となる一方、多くの檀信徒の追善菩提を祈る道場ともなっています。近年では、雲水たちが踊り方を指導する7月の「み霊まつり」は、新たな鶴見の風物詩ともなっています。瑩山禪師は禅院のルールを定めて民衆を教化し曹洞宗の全国展開の礎を築きました。七百年を経てもなお人々へと仏法を伝える試みが形を変えながらも現代社会でなされていることから、太祖、瑩山禪師の民衆教化の姿が偲ばれます。



成道会

仏教学部教授 村松 哲文

「しゅっさんしゃか」の意味を学生に聞くと、お釈迦様が出産したという、荒唐無稽な答えが返ってくる場合があります。正解は「出山釈迦」です。六年の苦行を経て、山を降りてくる様子を画題としたものです。お釈迦様の顔を見ると、髪や髭は伸び、衣も乱れており、その苦行の様子がうかがえます。この後、ナイランジャンナー川のほとりで身を清め、村娘のスジャータに乳粥の布施を受け、ブツガヤーに向かい菩提樹の下で瞑想しました。



瞑想を続ける中、それを妨げる悪魔が登場しますが、お釈迦様は右手を地につけて、悪魔を下したといわれています。大切なことは、悪魔の正体が自身の煩惱であり、瞑想の邪魔をしたのは、自らの心の中にあるものということなのです。瞑想から七日目、太陽が昇りはじめた時、お釈迦様は悟りを開きました。この時35歳、悟りは王宮内での快楽の中にも苦行の中にもなく、ただ中道の中にあると気づいたのでした。この日が12月8日とされ、お寺ではお釈迦様の悟りを祝って「成道会」が厳粛に行われます。その際、この「出山釈迦」が堂内にかけてられます。

国際交流体験レポート

トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム (フィリピン 新興国コース)



グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科3年 金澤 麻衣

私が訪れたのはフィリピンの田舎町。誰もが知る観光地セブ島などとは違い、どこか懐かしさを感じさせる。そんな町でフェアトレードという貿易の仕組みを学ぶため、貧困地域へのホームステイや少数民族へのインタビューを行った。この時、視覚で感じた第一印象はやはり「貧しい」の一言。隙間だらけの家、黄色く濁った井戸水での水浴び(入浴)、質素な料理。こんなにも日本と異なる生活を体験したのは初めてで、衝撃を受け唖然とした初日の気持ちを今でも鮮明に覚えている。

しかしなぜだろうか、帰る頃にはこの町が「好き」になっていた。もちろん金銭的に余裕はなく、生きていくために必死の毎日だ。それでも、人々の心からの笑顔、晩御飯を囲んではずむ家族の会話、背景を知らなかったら彼らから貧困という二文字は全く想像がつかない。フェアトレードを学ぶと意気込んできた私だったが、それ以上に一人の人として根本的に大切なことを自分に問いかけることが出来た。それは「自分にとって本当の幸せとは何か」。そしてこんな素敵な贈り物をくれた彼らに対し、次は私がサポートしたい、と自分の将来への意識も強く高まった。彼らのためだけではなく、自分のためにも発展途上国に関わりた

い。
皆さんにも一度立ち止まって考えてほしい。「あなたにとっての幸せとはなんですか」。



ホームステイ最終日にホストファミリーと(後列右端)

トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム

このプログラムは、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。採用学生は、給付型奨学金の受給のみならず、独自の研修プログラムにより“産業界を中心に社会で求められる人材”、“世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材”へと育成されます。支援対象となる留学期間は28日間から2年以内で、応募者が自由に計画を組み立てることができます。交換留学など単位修得を前提としたアカデミックな留学だけでなく、インターンシップやボランティア、フィールドワークなど、多様な活動が支援の対象となります。応募倍率が大変高く、審査も厳しいものとなっているため、応募には念入りの準備が必要となります。第13期の募集(12月1日開始)については国際センターにご相談ください。

アーカンソー工芸大学

交換留学



グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科3年 滝村 伸

2年生の後期から約10ヶ月、アメリカ合衆国のアーカンソー工芸大学に留学をした。アーカンソーは別名“自然の州”と呼ばれるほど緑が豊かで、サイクリングやカヌーなどのレジャーが楽しめる。一方で州都リトルロックは1950年代に大きな公民権運動が行われた地で、米国の歴史の中でも重要な場所だ。

この長閑な土地に滞在し、勉学以上に、挫折を通して人として成長したと感じる。現地では日本では味わうことのできない新鮮な出来事で溢れていた一方で、留学当初はネイティブの言っていることが理解できない、言いたいことが言えない、他国の留学生は物凄く流暢で自分の惨めさが身に染みるなど、日本で感じたことのない劣等感に苦悩した。

しかし、この経験から“自分はまだまだ発展途上である”ということに再認識した。だからこそ留学中はこの20年間で一番頑張った1年にしようと思われ、何事にもチャレンジした。毎日深夜にまで及ぶ図書館での自習や、現地学生とのスタディグループに参加しての議論。各国の文化共有を目的としたイベントの際にはフード系のリーダーを務めるなど、コンフォートゾーンを自ら抜け、自ら経験値を獲得することを意識した。現在でも“自分は発展途上である”ことを意識し、ゴールを見据え、日々何をするのかを明確にして一歩ずつでも前進することを心がけている。



留学先でできた友人の誕生日会(左から4人目)

国際センターよりお知らせ

クィーンズランド大学・来日プログラム



■ ボランティア学生の募集

本学協定校のオーストラリア・クィーンズランド大学の留学生在が日本語・日本文化を学ぶため、11月22日(金)~12月15日(日)の間、駒澤大学にて研修を行います。研修期間中、留学生の学習・生活を支援し、彼らと交流してみませんか?興味のある学生はぜひ国際センター事務室にご相談ください。英語力は特に必要ありません。



国際センター事務室: TEL(03)3702-9732

桑原ゼミは、主に簿記会計による財務諸表分析を行うゼミで、2年生17人、3年生21人、4年生19人が所属しています。

活動内容は学年ごとに異なっています。2年生は、6月までは日商簿記検定取得のために検定勉強をします。それ以降は年に2、3回グループで発表を行っています。発表は、先生が毎時間財務諸表分析に関する講義をしてくださり、その知識を基に準備を行います。3年生は、2年次に学んだことを活かしながら個人で活動を行います。業界分析をテーマとし、前期は夏合宿での中間発表に向けて準備をします。具体的には、各企業の有価証券報告書を用いて収益性分析やセグメント分析、四半期分析を行います。後期は、さらに分析を進めるために、前期の分析内容の他に安全性分析や株式情報を基にした分析、キャッシュフロー計算書分析などを行い、レポートを作成します。

桑原ゼミの主な年間行事は、年2回の全学年合同懇親会と、8月に2、3年生が参加する2泊3日のゼミ合宿、

京都産業大学との合同ゼミがあります。今年度のゼミ合宿では静岡県に行きました。2日間は3年生が発表を行



い、1日は海に行ったり御殿場のアウトレットに行ったりしました。また、毎年1日目の夜にバーベキューを行い素敵な夏の思い出ができます。京都産業大学との合同ゼミは、昨年度から始まったもので、2年次に京都産業大学が駒澤大学に、3年次に駒澤大学が京都産業大学に行き、両大学が発表をし合うという内容でした。また、発表後には懇親会を行い、とても楽しい思い出になりました。

日本全国、
世界からも学生が集う駒大。
故郷のいろんなことを
アピールしていただきます。

お国自慢

第 10 回



栃木県
イメージキャラクター
とちまるくん

〈栃木県〉ってこんなところ

私の出身地である栃木県は、なんととっても「なんだかんだ住みやすい」という魅力があります。他県出身の方々は栃木県にどの様なイメージを持っているのでしょうか？おそらく「田舎」とか「宇都宮」とか、少し寂しい、パツとしない答えが返ってくると思います。そうです。確かに田舎です(笑)。中心市街地以外はほとんどが田んぼや山地です。しかし、東京へすぐアクセスでき、家賃も安く、自然豊かな場所でのんびり

過ごすことができます。

また、世界遺産の「日光東照宮」、日本有数の温泉地である「鬼怒川温泉」、日本三大イルミネーションの一つを開催する「あしかがフラワーパーク」など観光地も多くあります。栃木県に行く機会がありましたら、まずは有名な宇都宮餃子を味わい、軽く中心市街地を観光した後那須や鬼怒川の温泉に入ってみてください。そしたらきっと、栃木県にまた来たいと思うはずです！



法学部政治学科3年
高塩 友輔
出身高校：
栃木県立さくら清修高校

今回のお国自慢

栃木県



高塩さんのおすすめ

食べ物

『いもフライ』

いもは大きくホクホクで特製ソースがかかっており、一回食べるとハマること間違いなしです。



観光地

『日光東照宮』

徳川家康を祀る神社として知られていますが、最近では仕事運・勝負運・上昇運などのパワーがもらえる「パワースポット」として海外からの観光客にも人気が高い観光地となっています。



これぞ栃木弁!

『いかんべ』

意味：いいでしょう

例文：「この時計いかんべ!」のように同意を求めるときに使います。



「お客さんの笑いこそが僕たちの動力源になっています」
今回取材を行った『お笑い集団ナイフとフォーク』代表の佐藤希平さん（国文3）はそう語る。サークルは毎週木曜日に8号館で活動をしており、人数は30人程で月に一回、教場やライブハウスなどで定期公演をする。形態は漫才、コント、モノボケなど様々である。

目標は学生R-1、学生M-1、学生主催ライブなどで優勝し、少人数でも他の大学で通用するサークルにすることである。個々の目標を達成するため、間の取り方やツッコミの強弱、言い方を変化させるなどの調整を重ねながら100回以上繰り返し練習する。本番ではスベってしまう怖さがあったり、他のコンビがウケている状況を目の当たりにする



という悔しさもあったり、お客さんからのフィードバックで「つまらない」という容赦ない評価をされたりすることもある。しかし、芸能プロダクション

主催のイベントではプロと同じ舞台に立つことができ、モチベーションが上がる。またあの舞台に立つためにお笑いの精度を上げていく。自分たちが考えたネタで笑ってくれる。その笑い声を聞いたらまた笑わせたくなり、「一種の中毒だ」と語る通り、やりがいは計り知れないのだそうだ。

「お笑いサークル」と銘打っているが、実態は大学内に留まらず、ライバルと切磋琢磨しながらそれぞれの「笑い」を追求している唯一無二のサークルであった。直近のイベントは11月2日（土）・3日（日）のオータムフェスティバル（大学祭）であり、お笑いが好きな人、気になった人はぜひ覗いてみてほしい。その他のイベントはTwitterをフォローして最新情報をチェックだ！

（学生記者 文学部国文学科3年 長崎 瑞歩）

Twitter <https://twitter.com/komazawaowarai>

研究こぼれ話

「リーズと貿易政策」

経済学部 教授

吉田 真広



2018年4月から1年間、英国のリーズ大学でブレグジット（英国のEU離脱）問題を研究する機会を得ました。リーズはかつて羊毛産業で栄えたヨークシャーの中心都市であり、運河と鉄道における交通の要所でした。リーズ産の毛織物は国内だけでなく海外にも展開され、国の経済発展の礎となりました。

現在は商業都市とともに大学都市でもあります。33,000人以上を擁するリーズ大学には、貴族やブルジョアだけでなく繊維労働者の子供など多くの人への平等な学問機会の提供を設立理念とする記念紋章があります。その他、学生数26,000人のシティ大学、法律、建築、美術、音楽等、数千人規模の諸大学が点在しています。

ブレグジットの焦点の一つは貿易です。貿易問題が論じられる際、よく目にするのが「自由貿易は正義、保護貿易は悪」という思考停止的な論調です。自由貿易は普遍的に正当な政策ではありません。例えば、16世紀以前の英国は大陸ヨーロッパの毛織物生産の原料供給国であり製品輸入国でした。自国生産品が輸入品に変わったのは、それ以前に保護政策があったからです。また、産業革命を主導した綿布の機械生産のきっかけは、「風が織りなす布」と評されたインド産の綿布輸入からの保護政策でした。英国が優位性を獲得した後、「自由貿易帝国主義」として他国の発展を阻害した時期もありました。自由貿易と保護貿易の是非は、発展段階、経済構造や相互関係等を踏まえて論じるべきなのです。

「礼」ってなんだろう？

総合教育研究部 准教授

末次 美樹



6歳で空手を習い始めて、今年で34年目になります。空手を始めた当初から、道場への出入りや相手と向き合った際、試合前後等々、いつでも「礼をする」ことが義務付けられていました。常に行う行為としての「礼＝お辞儀」。そこにはどんな意味が存在するのだろうかという長年の疑問が「礼」を研究するきっかけです。

「礼」については、儒教の経書『礼記』に詳しく解説されており、そこには実にたくさんの意味が存在していました。古代中国で成立した「礼」を簡単にまとめると、「礼」には人間関係をうまく調和する潤滑油のような作用があり、人々は古くから「礼」を用い社会の規律を正していったことがうかがえます。「礼」には、お辞儀をするという外面的なものだけではなく、人と人が関係する空間に自身の立ち居振る舞いを合わせるというような意味も含まれています。

武道の世界には、「勝って驕らず、負けて悔やまず、常に節度ある態度を堅持する」という言葉があります。武道ではその態度を常に保つ精神力の強さが求められており、それが武道の「礼」ということになります。各種大会でも観られるように、最近では「礼」の形骸化が非常に目立ち、「礼」の体現化である形式としての「お辞儀」はするが、立ち居振る舞いは「礼」に反する選手が多くなっています。

「礼」の本質とは何か。武道の「礼」の研究をしながら、自分の日頃の行いを振り返ることが多い日々を過ごしています。

令和元年度科学研究費助成事業

科学研究費助成事業（科研費）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる研究を格段に発展させることを目的とする文部科学省・日本学術振興会の研究費であり、専門分野の近い研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。

令和元年度駒澤大学では、今年度からの新規課題19件、昨年度以前からの継続課題41件、合わせて60件の研究課題が採択されています。

●採択者一覧

※GMS学部＝グローバル・メディア・スタディーズ学部

研究種目	継続/新規	所属	職名	氏名	研究課題名	
基盤研究(A)	継続	文学部	教授	林 譲	前近代人物情報論の構築にむけた花押・筆跡の網羅的収集と汎用的利用に関する研究	
	継続	文学部	准教授	小野 映介	地形発達過程を考慮した自然災害発生リスクの評価	
基盤研究(B)	新規	文学部	教授	佐々木 真	戦争の「歴史化」を考える—「戦争の消費」と戦争認識の変化	
	継続	文学部	教授	片岡 栄美	日本のディスタンクシオンと社会構成意識—新しい文化資本と実践・意識の多元性	
	新規	法学部	教授	内海 麻利	空間制度の管轄と制御の関係に関する研究：縮減社会と諸外国の実態に着目して	
	継続	仏教学部	准教授	加納 和雄	ヒマラヤ地域における梵文写本の請来者および伝来経路の同定	
基盤研究(C)	継続	文学部	教授	近衛 典子	上田秋成の俳諧研究のための資料整備と基礎的研究	
	新規	文学部	教授	土井 光祐	明恵関係書類を主資料とする鎌倉時代の言語規範と言語変種に関する実証的研究	
	継続	文学部	教授	熊本 史雄	「近代史科学」構築のための基礎的研究—地方行政機関の公文書管理規程の収集と分析—	
	継続	文学部	教授	松信 ひろみ	世代間関係、ネットワークからみた中期から高年期への移行と夫婦関係に関する研究	
	継続	文学部	教授	山田 信行	ポスト資本主義の展望と資本主義の起源—移行論の再構築に向けた理論的・歴史的研究	
	継続	文学部	教授	岩城 達也	身体的違和感の心理生理学的メカニズムの探索	
	継続	文学部	教授	長谷川 孝治	SNSにおける上方・下方螺旋メカニズムの解明	
	継続	文学部	教授	藤田 博康	クライアントのニーズと嗜好を尊重した臨床心理援助実践のあり方に関する総合的研究	
	継続	経済学部	教授	浅田 進史	19・20世紀世界経済統合のなかのドイツ植民地経済論	
	継続	経済学部	准教授	井上 智洋	長期の貨幣政策とデフレ不況	
	新規	経済学部	准教授	江口 允崇	政府のデフォルトリスクが存在する場合の最適財政・金融政策の研究	
	新規	経済学部	教授	北條 雅一	アカデミック・レジリエンスの形成に有効な教育政策の経済学的研究	
	継続	経済学部	教授	水野 祥子	イギリス帝国林学ネットワークの再編と知の生産—英領インドの脱植民地化を中心に—	
	継続	経済学部	教授	渡邊 恵一	戦時・戦後復興期の民営鉄道—経営の多様性—	
	新規	経済学部	教授	姉齒 暁	農村における介護事業の担い手としての農家女性の課題に関する多面的分析	
	継続	法学部	教授	北野 かほる	法務と訟務の乖離—中世後期イングランドにおける“rape”民事侵害訴訟—	
	継続	法学部	教授	坂本 達也	従属会社の少数株主保護のための法規制に関する比較法研究	
	新規	法学部	教授	三宅 雄彦	ドイツ国法学上の国家憲法と宗教憲法の衝突の観点からみた現代的宗教問題の検討	
	新規	法学部	教授	中野 裕二	フランス共和国における「ジブシー」の市民権に関する研究：リベラル・モデルの例外化	
	継続	法学部	教授	山崎 望	「ポスト代表制」時代の民主主義—新たなコンステレーションの模索	
	新規	経営学部	教授	日野 健太	フォロワー視点による組織不祥事の発生・加速メカニズムの解明	
	新規	経営学部	教授	青木 茂樹	サステナブル・ブランディングの概念整理とその評価尺度の開発	
	継続	経営学部	教授	菅野 佐織	ライフイベントにおけるミックス・エモーションと消費者の購買行動との関連	
	新規	経営学部	教授	小本 恵照	「垂直統合志向」概念を用いたフランチャイズ研究：人的資源に着目したプロセス分析	
	新規	GMS学部	准教授	梅田 道生	日本における地域の諸特性と候補者の選挙戦略、選挙結果の関係に関する研究	
	継続	GMS学部	教授	高 媛	戦争と観光—戦前期「満洲」における戦跡ツーリズムに関する歴史的研究	
	継続	GMS学部	教授	芝崎 厚士	近現代日本の国際関係思想の形成 「未知との出会い」としての国際文化交流	
	継続	GMS学部	教授	服部 哲	聴覚障害児の言語習得を支援するための手話学習ソフトの研究開発	
	継続	GMS学部	講師	松前 恵環	個人情報保護法における「同意」の意義と課題—情報技術の進展に即した方針の提示	
	継続	総合教育研究部	教授	小川 順敬	久米島の明治大正期の郷土史および民俗資料の整理と研究	
	継続	総合教育研究部	准教授	別所 裕介	ネパール・ヒマラヤ地域における中国主導の経済開発と「仏教の政治」	
	継続	総合教育研究部	教授	小沢 誠	多重分岐曲面の3次元多様体への埋め込み(グラフ理論と3次元多様体論の融合)	
	継続	総合教育研究部	教授	伊藤 茂樹	非行少年の社会復帰支援と学校教育のあり方に関する教育社会学的研究	
	継続	総合教育研究部	准教授	上田 倫史	総合的な受容・産出語彙の測定テスト開発とその予測値に基づく学習支援システムの構築	
	継続	総合教育研究部	准教授	勅使河原 三保子	Vocal stereotyping: An acoustic and perceptual study of how listeners make inferences about speakers	
	新規	総合教育研究部	教授	中村 哲子	アイルランド大飢饉をめぐる19世紀小説の語りと表象—旅行記を視野に入れて	
	新規	総合教育研究部	教授	西村 祐子	グローバル皮革産業におけるネットワークの研究—サンタクロッチェを基点として	
	新規	総合教育研究部	教授	佐藤 普美子	20世紀中国における新詩の公共性に関する研究	
	挑戦的萌芽研究	継続	文学部	教授	須山 聡	ネオ内発的発展論に基づく「限界集落」の生存戦略の構築—住民との協働による実践—
	若手研究	継続	経済学部	准教授	西村 健	私的情報を持つプリンシパルによるメカニズムデザイン：オークション理論への応用
新規		法学部	講師	高田 実宗	次世代交通システムの法的基盤論	
継続		法学部	講師	梅川 葉菜	アメリカ連邦制と三権分立制の相互作用：抑制均衡を担保する州政府の台頭	
継続		経営学部	講師	山邑 紘史	共有資源の配分問題におけるメカニズムデザイン：理論と実験	
継続		医療健康科学部	講師	馬込 大貴	Radiomicsに基づく放射線治療支援システムの開発	
新規		GMS学部	講師	平井 辰典	音楽メロディのベクトル表現の実現とその有効性の検証	
若手研究(B)	新規	総合教育研究部	講師	澤田 望	計量テキスト分析を用いた英領ナイジェリア新聞の世界報道に関する研究	
	継続	文学部	准教授	倉田 容子	宮崎夢柳作品における女性表象と「自由」の概念との連関性についての研究	
	継続	文学部	准教授	角道 亮介	西周都城の性格に関する考古学的研究	
	継続	文学部	講師	土田 久美子	共生型マルチエスニック・コミュニティ形成の社会的条件—ロサンゼルス事例として	
	継続	経済学部	教授	松本 典子	現代資本主義社会における労働者協同組合の機能とガバナンス	
	継続	経営学部	講師	武谷 慧悟	苦情顧客の類型化に基づく補償と説明を基軸としたサービス・リカバリー戦略の構築	
国際共同研究加速基金(国際共同研究強化)	継続	総合教育研究部	講師	高橋 博之	ブラックホール及び中性子星降着円盤の活動性と起源の解明	
	継続	経済学部	教授	水野 祥子	1960年代の国際開発援助とイギリス植民地科学者—アフリカへの技術援助を中心に(国際共同研究強化)	
研究成果公開促進費(学術図書)	新規	仏教文学研究所	研究員	李 子捷	『究竟一乘性論』と東アジア仏教—五・七世紀の如来蔵・真如・種姓説の研究	



オータムフェスティバル

2019 開催



皆さんこんにちは！オータムフェスティバル2019実行委員会です！今年度の大学祭は11月2日(土)・3日(日)に開催します。今年のテーマは「#こまざわでつながりたい」。コマザワという場所で様々な人たちが交流し、新たな発見や体験を通して思い出を作ってほしいという思いを込めました。

なに！？その日は予定が入っている？このラインナップを見たら、きっとあなたも来なくなるはず！そんな注目企画をPICK UPしたのでご紹介します！

駒澤歌うま選手権 2019

今年で3回目を迎えるこの企画。駒大生約1万5000人の中で歌唱力NO.1は誰なのか…。歴代の歌うま選手権出場者の中には、現在大学外で活動を広げている人も多数！1万5000人のトップを決める熱き戦いに今年も目が離せない！



K-pro

K-proとは、駒澤大学ならではの坐禅や写経、駒大のスポーツを扱った企画です。坐禅企画では坐禅・写経体験、禅文化歴史博物館ツアーなどを行い、スポーツ企画では部活動紹介や陸上競技部への寄せ書きなどを行っています。箱根駅伝でこの横断幕が掲げられるかも！？寄せ書きで選手にエールを届けよう！



ミス・ミスター駒澤 コンテスト 2019

駒澤大学の中で1番の美男美女を決めるこの企画。近年、某他大学などが話題になっていますが…駒澤のレベルもめちゃくちゃ高いんです！！しかも今年も無料で見ることが出来ます。今年の駒澤の顔は果たして誰になるのか…グランプリ決定の瞬間をその目に焼き付けろ！

主催 駒澤企画研究会
公式Twitter @koma_missmr



オータムフェスティバル ライブ 2019

今年のオータムフェスティバルは…なんと！「和牛」・「ピスタチオ」・「オジンオズボーン」という3組のお笑いスペシャルライブを開催！お笑い好きはもちろん、あまりお笑いを見たことがないという方でも一度はこのコンビ名を聞いたことがあるはず…。賞レース常連の笑いのスペシャルライブたちが記念講堂を爆笑の渦に包み込む！！(チケット制、詳細はHPにて随時更新予定)

主催 駒澤プロデュース研究会
公式Twitter @komazawa_KPC



※企画内容は、変更・中止になる場合がございますので、予めご了承ください

ここで紹介しきれなかった注目企画や最新情報は、公式TwitterとHPで随時更新中！SNS投稿の際は、#AF2019、#こまざわでつながりたい をお願いします。

公式 Twitter



公式 ホームページ



オータムフェスティバル2019実行委員会

第13回学長学業奨励賞が222人に授与されました。

この賞は、前年度の各学科成績上位者若干名を学年ごとに表彰するものです。

<仏教学部>

【2年次生】鳥澤 宏翔・小名木 洋正・玉水 まい・古賀 雪音・川原 綾夏

<仏教学部禅学科>

【3年次生】長谷川 涼夏・白井 隆悦
【4年次生】山口 拓真・柴田 宏祥

<仏教学部仏教学科>

【3年次生】川邑 省吾・江口 莉央・平川 竜太
【4年次生】鳥澤 芳峻・高橋 潤・縄田 麻友

<文学部国文学科>

【2年次生】土屋 さえ・今田 百映・菅野 真由子
【3年次生】内田 好美・須藤 紗貴・石井 百花
【4年次生】長田 麻友子・遠藤 万友・七條 光咲

<文学部英米文学科>

【2年次生】片山 凌・村山 栞・貞廣 光里
【3年次生】後藤 彩巴・韓 天翼・真下 直子
【4年次生】佐藤 由梨佳・神田 桃・黒田 将弘

<文学部地理学科地域文化研究専攻>

【2年次生】松田 光・橋戸 芹菜
【3年次生】日下部 有希・須藤 慶達
【4年次生】清水 俊行・横尾 空

<文学部地理学科地域環境研究専攻>

【2年次生】西山 真白・今井 あやめ
【3年次生】鈴木 駿麻・吉田 葵
【4年次生】加藤木 みさ・加藤 由翔

<文学部歴史学科日本史学専攻>

【2年次生】田中 悠太・林 千聖
【3年次生】寺嶋 桜織・佐藤 菜々子
【4年次生】北原 拓実・柳瀬 翠華

<文学部歴史学科外国史学専攻>

【2年次生】梅崎 彩夏・長田 黎
【3年次生】高野 弥生・有馬 康太
【4年次生】志村 雅人・菊地 里沙

<文学部歴史学科考古学専攻>

【2年次生】白石 なつみ
【3年次生】長谷川 美紀
【4年次生】宮崎 滂菜

<文学部社会学科社会学専攻>

【2年次生】高橋 里佳・伊佐 綾乃
【3年次生】橋本 采奈・篠田 泰一
【4年次生】磯部 涼子・藤本 尚世

<文学部社会学科社会福祉学専攻>

【2年次生】土居 袖月・小磯 真由香
【3年次生】柿沼 優菜・石橋 里菜
【4年次生】河野 和・高木 優菜

<文学部心理学科>

【2年次生】大久保 莉佳・菅野 晴日
【3年次生】岩崎 亜実・片桐 未夢
【4年次生】井町 美沙緒・篠原 昌樹

<経済学部経済学科>

【2年次生】岡 美咲希・桐原 花菜子・山下 翔馬・鈴木 春奈・兒玉 麻緒・佐藤 美月・柚 竣平

【3年次生】東 駿太郎・阿部 真彩・安岡 彩夏・佐々木 梨奈・田中 智也・田崎 智・萩 一多

【4年次生】吉田 宏子・秋山 清人・持田 和花・蓮見 美紗・佐藤 帆夏・平林 実華・松田 留奈

<経済学部商学科>

【2年次生】真田 優衣・増田 一哉・立花 李夏・大牧 恭輔・峯田 敦子
【3年次生】守屋 亜美・清水 聡・小澤 拓・黒川 南々帆・水澤 茉音
【4年次生】坂入 匠・久保田 千尋・片山 洋介・北野 哲平・後藤 歩

<経済学部現代応用経済学科>

【2年次生】吉崎 賢哉・市川 将崇・中根 透輝
【3年次生】白井 晴紀・米川 広人・安藤 彩華
【4年次生】植田 黎磨・内田 詩乃・中崎 希望

<法学部法律学科フレックスA>

【2年次生】小山 美柚・横倉 墨斗・藤田 大成・鎌田 那津子・菅原 孝介・前山 登史
【3年次生】吉田 沙南・藤田 陽奈子・中泉 雪萌・得居 滂・川口 可夏・恩田 梓沙
【4年次生】富山 尚恵・富上 愛梨・千葉 大樹・金子 優斗・池田 美咲・鶴ヶ崎 裕美子

<法学部法律学科フレックスB>

【2年次生】清水 美咲・高木 裕矢・山下 航平・笹田 達哉
【3年次生】松浦 将吾・金井 翔吾・杉渕 海・鶴野 彩乃
【4年次生】石 和彬・西出 智亮・丸山 隆一・國松 沙樹

<法学部政治学科>

【2年次生】高橋 伽菜・畠田 星夜・富原 瑞貴・黒木 躍
【3年次生】小林 一耀・鬼島 浩介・古市 絢音・牧田 海司
【4年次生】奥寺 彩乃・雨宮 克弥・佐藤 洋亮・荻久保 純

<経営学部経営学科>

【2年次生】道山 智裕・浅野 祐太・小田部 海斗・小長井 晴果・平田 悠人・田口 勇太・篠田 彪太
【3年次生】杉山 怜・栗原 優人・渡辺 千晶・中田 知里・松永 萌花・王 震宇・浅野 莉菜
【4年次生】新井 翔太・熊谷 香穂・武井 あす香・宮崎 雄右・遠藤 かなえ・折口 萌・山岸 公輝

<経営学部市場戦略学科>

【2年次生】下坂 美穂・細川 真優・松本 琴音・三橋 佳歩
【3年次生】阿部 巴音・奥原 昂太・塩田 柚香子・花田 拓輝
【4年次生】前田 千咲・峯岸 春菜・稲垣 茉奈・中里 虎丸

<医療健康科学部診療放射線技術科学科>

【2年次生】中村 亮輔・道又 玄太
【3年次生】杉戸 千夏・柏倉 大登
【4年次生】藤井 恭平・西澤 慎

<グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科>

【2年次生】熊谷 夏希・加藤 理央・薄井 優花・高橋 佳鈴・齋藤 まどか・桑原 宏典
【3年次生】久須美 はるな・肥喜里 拓真・木戸 美波・池田 萌笑・蜂谷 真人・丹沢 千文
【4年次生】藤本 一輝・川崎 大輝・山城 涼・手塚 彰吾・林 里瑛・栗栖 あるま

こども大学 開催

7月28日(日)に駒沢キャンパスで「こども大学 in 駒沢 2019」を開催しました。2回目の開催となった今年度は、昨年度を大きく上回る1,358人の方々にご来場いただきました。

当日は、26団体が参加し、そのうち17団体が「夏休み 自由研究プロジェクト」と題して様々なプログラムを実施しました。「自由研究のお手伝い」をコンセプトに、箸置き作成、抹茶と緑茶の飲み比べ、アナウンサー体験、落語体験など、それぞれのサークルの活動内容に基づいたプログラムを用意し、作った作品やワークシートを子どもたちに持ち帰っていただきました。また、音楽系サークルによる「ミニ発表会」では、ギタークラブなどが生演奏を披露しました。「プレーパーク」では、囲碁部や将棋愛好会、テーブルゲーム研究会が協力し、大学生との対戦を楽しんでいました。今年度は新たにeスポーツサークルが体験会を行いました。

参加した学生からは「楽しく参加できました。これから来場者数が増え、駒澤大学の地域貢献事業として有名になっていければ良いと思います」といった声も聞かれました。



スポーツフェスティバル in 玉川 2019

11月17日(日)

体育会所属学生が中心となり、①大学と地域社会との交流、近隣住民への教育活動の機会を提供、②地域貢献を通じた課外活動による学生の自己形成促進、③地域における共生社会



の実現を目的に、世田谷区内の小・中・高校生や一般の方々を対象とした「スポーツ教室・体験会」や「運動会」等を実施します。

その他、ベーゴマやお手玉等の伝統遊びなどを通じて幅広い年齢層の方々とふれあう「プレーパーク」を開催します。また、世田谷区内の障がい者施設や高齢者クラブによるワークショップや障がい者スポーツ(ボッチャ)体験会、グラウンドゴルフ体験コーナーも実施予定で、多様な近隣住民の方々との交流を図ります。お昼には屋台も出店するので、一日中楽しめるイベントとなっています。



サークルの活動予定

駒大生の輝く姿をぜひご覧ください

体育会

- **アメリカンフットボール部**
- 関東学生アメリカンフットボール 秋季リーグ戦／～12月15日(日)／玉川キャンパス、アミノバイタルフィールド 他
- **居合道部**
- 第23回関東甲信越居合道大会／11月23日(土)／東京武道館
- **剣道部**
- 第67回全日本学生剣道優勝大会／10月27日(日)／千葉ポートアリーナ
- 第38回全日本女子学生剣道優勝大会／11月10日(日)／春日井市総合体育館
- **サッカー部**
- JR東日本カップ2019 第93回関東大学サッカーリーグ戦【後期】／～11月16日(土)／味の素フィールド西が丘、三ツ沢公園陸上競技場 他
- **準硬式野球部**
- 令和元年度東都大学準硬式野球秋季リーグ戦／～10月27日(日)／府中市市民球場 他
- **少林寺拳法部**
- 第53回少林寺拳法全日本学生大会／11月4日(月)／千葉ポートアリーナ
- **卓球部**
- 全日本学生選手権大会／10月24日(木)～27日

(日)／京都府島津アリーナ

- 全日本学生選抜選手権大会／11月23日(土)・24日(日)／埼玉県所沢市民体育館
- **ボクシング部**
- 第89回全日本ボクシング選手権大会／11月15日(金)～24日(日)／鹿児島県阿久根総合運動公園総合体育館
- **硬式野球部**
- 令和元年度東都大学野球 秋季リーグ戦／～10月23日(水)／明治神宮球場
- **洋弓部**
- 関東学生アーチェリー新人個人選手権大会／11月1日(金)・2日(土)／富岡総合公園アーチェリー場
- **ラグビーフットボール部**
- 関東ラグビーフットボール大会 リーグ戦5部／～11月3日(日)／玉川キャンパス、拓殖大グラウンド、文教大グラウンド
- **陸上競技部**
- 秩父宮賜杯第51回全日本大学駅伝対抗選手権大会／11月3日(日)／熱田神宮西門前～伊勢神宮内宮宇治橋前
- 第96回東京箱根間往復大学駅伝競走／1月2日(木)・3日(金)／大手町～芦ノ湖～大手町

●男子ラクロス部

- 第32回関東学生ラクロスリーグ戦／～11月3日(日)／駒沢オリンピック公園総合運動場第一球技場、大宮けんぼグラウンド 他
- **オーストラリアンフットボール部“マグバイズ”**
- ジャバントップリーグマッチ／10月20日(日)／未定
- **応援指導部ブルーベガサス**
- 第十五回天馬祭／12月8日(日)／駒沢キャンパス記念講堂

文化部

- **合唱団**
- 第57回定期演奏会／12月21日(土)／府中の森芸術劇場 ウィーンホール
- **ギターマンドリン倶楽部**
- 第49回定期演奏会／12月21日(土)／駒沢キャンパス記念講堂

●書道部

- 第53回書作展／12月13日(金)～15日(日)／目黒美術館 区民ギャラリー

任意団体

- **放送研究会**
- 番組発表会／12月15日(日)／深沢キャンパス120周年アカデミーホール

経済学部の長山宗広ゼミが世田谷区主催の
地域交流イベント「うままちプラス」に参加

長山ゼミが、8月24日(土)・25日(日)に世田谷区のJRA馬事公苑前けやき広場で開催された「うままちプラス」に参加しました。このイベントは、2020年東京オリンピック・パラリンピック(馬術競技)に向けた地域交流を目的として世田谷区が開催するもので、長山ゼミは「小学生の自由研究サポート」、「経済すごろく」などのブースを運営しました。イベント参加により形成された近隣住民や参加団体との繋がりを通じ、2020年に向けて継続的に地域コミュニティと連携した「うままちプロジェクト」を企画・実施していく予定です。



グローバル・メディア・スタディーズ学部の教員・学生が
「Visual Computingシンポジウム」でフォーラムエイト賞を受賞

6月27日(木)～29日(土)に、早稲田大学国際会議場で開催された「Visual Computingシンポジウム2019」で、グローバル・メディア・スタディーズ学部の平井辰典講師と服部圭介さん(グローバル・メディア研究科修士1)の研究発表「AR空間内でのインタラクティブなプログラムを作成可能なプログラミングツールの提案」が「フォーラムエイト賞」を受賞しました。これは、国内を代表する画像分野のシンポジウムで、「フォーラムエイト賞」はスポンサー企業により、50件を超える研究発表の中から贈られました。



陸上競技部の中村大聖選手
が「第30回ユニバーシアード競技大会」ハーフマラソンで銀メダル獲得

中村大聖選手(政治4)が、7月3日(水)～14日(日)にイタリアで開催された、「第30回ユニバーシアード競技大会」のハーフマラソン競技に日本代表として出場し、1時間5分27秒の記録で2位となり、銀メダルを獲得しました。



KOMAZAWA

サッカー部の星キョーファン選手がJ2 横浜FCへの新加入内定

星キョーファン選手(法律4)が、Jリーグ2部の横浜FCに2020シーズンから新加入することが内定しました。星選手は、キャプテンを務めチームの勝利に大きく貢献してきたほか、U-20全日本大学選抜等に選出されるなど、主力として活躍してきました。また、昨年の「第67回全日本大学サッカー選手権大会」では、チームを準優勝へ導くとともに、自身も大会の「ベストディフェンダー賞」を獲得しました。



空手道部が「内閣総理大臣杯第62回全国空手道選手権大会」で団体5冠

7月6日(土)・7日(日)に武蔵野森総合スポーツプラザで開催された「内閣総理大臣杯第62回全国空手道選手権大会」の男子団体組手、女子団体組手、一般男子団体組手、男子団体型、女子団体型でそれぞれ優勝し、団体5冠を達成しました。この結果により大学総合優勝を達成し、「文部科学大臣杯」を受賞しました。また、女子個人組手で杉本りさ選手(心理4)が優勝、一杉菜々子選手(現代応用経済3)が第3位、男子個人組手で渡邊龍翔選手(法律2)が準優勝、女子個人型で佐藤柚奈選手(現代応用経済4)が第3位となりました。



ボクシング部の完山隼輔選手が「第72回関東大学ボクシングリーグ戦」で階級賞と技能賞を受賞

完山隼輔選手(経済2)が、「令和元年度第72回関東大学ボクシングリーグ戦・1部」で、リーグ戦全5試合全てに勝利し、ライト級の「階級賞」を受賞しました。また、最優秀選手賞を含む関東連盟三賞の一つである「技能賞」にも選出されました。



学園通信338号p.6に掲載した駒大クイズの正解を発表します。

Q1の解答:D

Q2の解答:B. 7号館

多数のご応募ありがとうございました。次回は340号(1月15日発行)にクイズを出題します。

経営学部の小野瀬拓ゼミがパネル展示「駒澤大学 三島海雲展」を開催

小野瀬ゼミが、6月24日(月)～7月8日(月)の期間、駒沢キャンパス種月館でパネル展示「駒澤大学 三島海雲展」を開催しました。この企画は、インフォグラフィックをもとにカルピス創業者である三島海雲氏を表現したパネル展示で、ラウンジ「ウイステリア」を利用して実施しました。



学生FDスタッフの委嘱が行われ結成式を開催

6月17日(月)、学生FDスタッフの委嘱が行われ、結成式を開催しました。学生目線の教育改善を目指して4学部5学科から14人の学生FDスタッフが、学生から見て効果的であると思われる教育方法を実践する教員を表彰する「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」などのイベント企画、広報、運営を行います。



グローバル・メディア・スタディーズ学部の小沼あみさんが文部科学省の「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に選出

文部科学省が展開する留学促進キャンペーン「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」で、第11期生派遣留学生として小沼あみさん(グローバル・メディア2)が選出されました。



NEWS



総合教育研究部の瀧本誠准教授が「東京ヴェルディ柔道教室」を開催

8月4日(日)に玉川キャンパスで開催された「東京ヴェルディ柔道教室」に、瀧本准教授と柔道部の選手4人が参加しました。これは、プロサッカークラブを保有する東京ヴェルディ株式会社とシドニー五輪柔道金メダリストでもある瀧本准教授が連携し、柔道の普及・発展をテーマに設立した柔道教室です。当日は小学1～6年生の児童32人が参加し、サッカーボールを使用した動きを行うなど一味違った柔道教室となりました。



その他

岡山県と石川県と宮城県とそれぞれ就職促進に関する協定を締結

学生の県内の企業へのUIJターン就職活動支援について、相互に連携・協力をして取り組むことを目的とし、新たに3県と協定を締結しました。なお本学では現在、栃木県、長野県、茨城県、新潟県、山形県、山梨県、福岡県、岐阜県、札幌市、福井市と既に就職支援に関する協定を結んでいます。

禅ブランディング事業 シンポジウム「仏教における『禅と心』の探求」を開催

7月20日(土)に駒沢キャンパスで、「禅ブランディング事業」の一環としてシンポジウム「仏教における『禅と心』の探求」を開催し、146人が参加しました。仏教学部の石井公成教授、東北大学のオリオン・クラウタウ准教授、舞鶴高等専門学校の吉永進一教授、本学名誉教授の谷口泰富先生によるパネル発表とパネルディスカッションが行われました。



駒澤大学エジプト調査隊がピラミッド調査のためのクラウドファンディングをスタート



文学部歴史学科外国史学専攻の大城道則教授率いる駒澤大学エジプト調査隊が、エジプト・メイドウム遺跡のピラミッドエリアにおける調査のため、10月からクラウドファンディングを実施します。ギザの大ピラミッドの持ち主であるクフ王の父、スネフェル王が造ったピラミッド周辺地域で新たな発見を目指します。詳細は右記QRコードをご覧ください。



読者アンケート

駒澤大学広報誌『学園通信』(339号)をご覧くださいましてありがとうございました。今後の誌面づくりの参考のため、右記QRコードより皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。



「時間だけは皆に平等。有意義に過ごせるかどうかで将来が変わってくる」



1989年兵庫県生まれ。2012年経営学部経営学科卒業。4歳から北海道で暮らし、8歳からアイスホッケーを始める。大学時代はアイススケート部に所属しながら、社会人のインラインホッケーチームに参加。卒業後は単身渡米し、本場のインラインホッケーを経験。帰国後は消防士となり日々の任務に励みながら、インラインホッケー日本代表として世界に挑戦し続けている。

インラインホッケー日本代表、消防士、そして駒澤大学アイススケート部監督。二刀流ならぬ三刀流で活躍されている西永さんにお話を伺いました。

* * * * *

---アイスホッケー、インラインホッケーとの出会いを教えてください。

アイスホッケーは、小学2年生の時に友だちから誘われて始めました。北海道では、幼稚園でもスケートの時間があったり、小学校の体育の授業で滑ったりしていましたから、元々身近なスポーツではありましたね。そのまま中学でも続けて、高校は駒大苫小牧に行きました。駒大苫小牧高校のアイスホッケー部は日本一に何度もなっている強豪ですが、僕は進学科に入ったので、体育科じゃないとアイスホッケー部には入部できなくて、実は高校では部活動はしていません。それで高校生ながら社会人のアイスホッケーチームに所属していました。苫小牧のスケートリンクでは夏場の2ヵ月ほど水を溶かすのですが、その溶かしたリンクで社会人の方がインラインホッケーをやっていて、そこで誘われたのがインラインとの出会いです。インラインホッケーは、アイスホッケーと似ているところもありますが、ボディコンタクトが禁止などルールや戦術も違

います。また、止まるのが難しく、最初はなかなか上手に滑れませんでしたね。それでも滑れるようになるとインラインの方が面白くなりました。

---駒澤大学では、どのような学生生活を送られましたか？

北海道ではインラインホッケーは夏しかできないので、専用のリンクがあって一年中インラインができる東京に行こうと決めました。駒澤大学に入学しましたが、大学の部活動ではインラインはできないので、社会人のインラインホッケーチームに所属しました。だから実はアイスホッケーについては、そこまでやる気はなかったです。ところが、大学のアイススケート部でもアイスホッケーの春大会に出られると聞いて、時間もあったので、入部する気もないのに部の練習に参加しました。結局そのまま入部することになりまして、今では監督までやっていますが（笑）。ただ東京は、北海道と違ってアイスホッケーの練習環境が良なくて、大学生や社会人チームがスケートリンクを借りられる時間は、一般開放や子どもたちの練習が終わった後の日付が変わってから。ですので、インラインホッケーの練習をして、その後、深夜からアイスホッケーの練習に行くこともありましてし、土日は両方の試合が被ることもありましてね。だから1年生の時は東京での生活に慣れていないこともあって、結構きつかったです。さらに、ホッケーは道具にお金がかかるので、ラーメン屋や日雇いなど、アルバイトも沢山して、部費や生活費を賄っていましたね。

---大学卒業後、アメリカに行こうと決心されたきっかけは？

インラインホッケーを続けたいという思いはずっとありました。大学2年生の時にインラインホッケーの日本代表に選ばれて初めて世界選手権に参戦したのですが、そこで世界のレベルの高さを知ったという経験が大きかったですね。その時に味わった悔しさもあって「人生は一度きりしかない。就職活動はしないで留学しよう」と決

めました。大学卒業後にインラインホッケーの本場であるアメリカへ留学することを決意して、リンクに近い語学学校を探しました。あとは、現地でそのリンクに行って「練習させてくれ」と直接交渉。行き当たりばったりですね（笑）。そこからは、午前中は学校で勉強して、昼食をリンクで食べて、午後は練習という毎日でした。



---帰国後、消防士になられた理由は？

アメリカで通っていたリンクの隣が消防署だったり、親族や友人に消防士がいたり、身近に見ていて憧れの気持ちを持ったというのがきっかけです。アメリカでは消防士はヒーローで社会的にすごく尊敬されている職業ですし、日頃から人の役に立てる、誇りを持って仕事に就きたいと思っていました。

---今後の目標を教えてください。

4年に一度開催される2021年ワールドゲームズへの参加資格を得るために、来年の世界選手権でベスト8に入ることが目標です。また、仕事の上でも、選手としても、今まで以上に言動や行動に自覚をもって、しっかりとやっていきたいと思っています。

---現役学生に向けてメッセージを。

学生時代は目標がなくてもいいので、遊びでもバイトでも何でもいから、何かに向かって一生懸命にやってほしいと思います。全力でやらないと見つかるものも見つからないですし、何かを得るチャンスも逃してしまふ。時間だけは皆平等ですので、時間を無駄にせず有意義に過ごしてほしいですね。そこで何をやるかで、将来が変わってくると思います。

Instagram
<https://www.instagram.com/kenstaro8/>
Facebook
<https://www.facebook.com/kentaro.nishinaga>
HP
https://www.get-support.jp/athlete/kentaro_nishinaga/